

| | | | | | | |
|--------|-----------|----------------------|---------------|------------------------|---------------------------|------------------|
| 事務事業名 | 市民バス整備事業 | | 所属部 | 政策企画部 | 所属課 | うんなん暮らし推進課 |
| 総合計画体系 | 政策名 | 〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉 | | 所属G | 定住・公共交通G | |
| | 施策名 | 〈13〉公共交通ネットワークの充実 | | 担当者名 | 丹波 鉄也 | |
| | 目的対象 | 公共交通機関利用者 | 意図 | 市内及び市外に向けて安全・便利に移動できる。 | | |
| | 基本事業 | 〈036〉公共交通体系の確保 | | 電話番号 | 0854-40-1014 (内線) 2323 | |
| 目的対象 | 公共交通機関利用者 | 意図 | 公共交通機関を利用できる。 | | | 予 算 科 目 |
| | | | 会計 | 0:1:1:0 | 0:2 | 大事業名 公共交通対策事業 |
| | | | 科目 | 0:5:7:5 | 0:9 | 中事業名 市民バス整備事業 |

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

| | |
|---|---|
| ① 対象(誰、何を対象にしているのか) | ② 意図(対象がどのような状態になるのか) |
| 老朽化したバス車両 | 安全で計画的な運行を行うことができる車両に更新される。 |
| ③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述) | |
| 事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H23 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) | 雲南市民バス事業を継続的に安全に行うために、計画的に車両の更新を行う。(目安は、車両年数が12年(過疎対策事業償還年数)を経過あるいは走行距離が50万キロでの更新が望ましい) また、バス車庫、バス停待合所などの施設整備を行う。 |
| ④ 主な活動 R4年度実績(R4年度に行った主な活動) ・マイクロバス29人乗り 2台購入 ・バス車庫解体 ・バス停待合所の移設 | ⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 車両更新について、冬季にも対応できるよう、マイクロ及び小型バスは4WD車両で更新している。今後も実施計画に基づき、計画的に車両を更新する必要がある。 また、バス車庫、バス停待合所の整備も必要に応じて実施している。 |

(2) 事務事業の指標

| 成果指標 | 単位 | R2年度(実績) | R3年度(実績) | R4年度(実績) | R5年度(計画) |
|-----------------|----|----------|----------|----------|----------|
| ア 10年経過車両数(更新後) | 台 | 1 | 4 | 5 | 5 |
| イ 15年経過車両数(更新後) | 台 | 5 | 5 | 4 | 3 |
| ウ | | | | | |
| エ | | | | | |

(3) 事務事業のコスト

| ① 事業費の内訳 (R4年度決算) | | ② コストの推移 | | 単位 | R2年度(決算) | R3年度(決算) | R4年度(決算) | R5年度(計画) |
|-------------------|-----------|----------|-------|----|----------|----------|----------|----------|
| 手数料 | 197千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | | | | |
| 自賠償保険料 | 26千円 | | 県支出金 | 千円 | | | | |
| 車両購入費 | 22,585千円 | | 地方債 | 千円 | 20,800 | 10,700 | 23,300 | 30,600 |
| 公課費 | 8千円 | | その他 | 千円 | | | | |
| 工事請負費 | 2,649千円 | | 一般財源 | 千円 | 892 | 510 | 2,165 | 238 |
| 合計 | 25,465千円 | 事業費計 | | 千円 | 21,692 | 11,210 | 25,465 | 30,838 |
| 財源 | 過疎債、合併特例債 | | | | | | | |

2 事後評価【SEE】

| | |
|-----------------|--|
| ① 事業実績における成果 | 市民バス28台を保有しているが、更新の目安となる車齢が12年に近づいている車両や更新の目安を超過している購入後15年以上経過した車両も複数台ある。安全運行の観点からも年次的計画的にバス車両を更新する必要がある。計画的な車両の更新に伴い、修繕費の抑制にもつなげていきたい。また、大東総合センター跡地に市民バス駐車場を整備したため、必要なくなった西阿用バス車庫を解体し、借地を解消している。掛合分校の生徒の利便性を向上させるため、不要となったバス待合所を佐中バス停に移設した。 |
| ② 事業実施するうえでの課題 | 計画的な車両の更新を進めているが、購入後10年以上経過し走行距離も30万キロ～50万キロ以上となっている車両も複数台存在する。適切な修繕等を行い安全運行に細心の注意をはらっているが、今後、修繕では効かない故障の発生も懸念されるので、今後も計画的な更新が必要である。 |
| ③ 課題解決に向けた改革改善等 | 車両の適正台数や車両規模を考慮し、より計画的な車両更新を実施していく。 |